

市会議第18号

北陸新幹線の京都市内大深度トンネルルートへの反対決議について

北陸新幹線の京都市内大深度トンネルルートへの反対決議を次のとおり提出する。

令和7年6月6日提出

提出者 市会議員 宇佐美 賢一 ほか31名
〔維新・京都・国民市議団、日本共産党市議団、
改新京都、無所属(非属)〕

北陸新幹線の京都市内大深度トンネルルートへの反対決議

現在、北陸新幹線の敦賀から大阪への延伸に関して、いわゆる小浜ルートとして敦賀から小浜を経由し京都市内の大深度地下にトンネルを建設する計画について、環境アセスメントが進められている。

この計画については、市民はもちろん様々な団体や専門家から、問題があり撤回すべきだとの強い意見が本市へも届けられているところである。

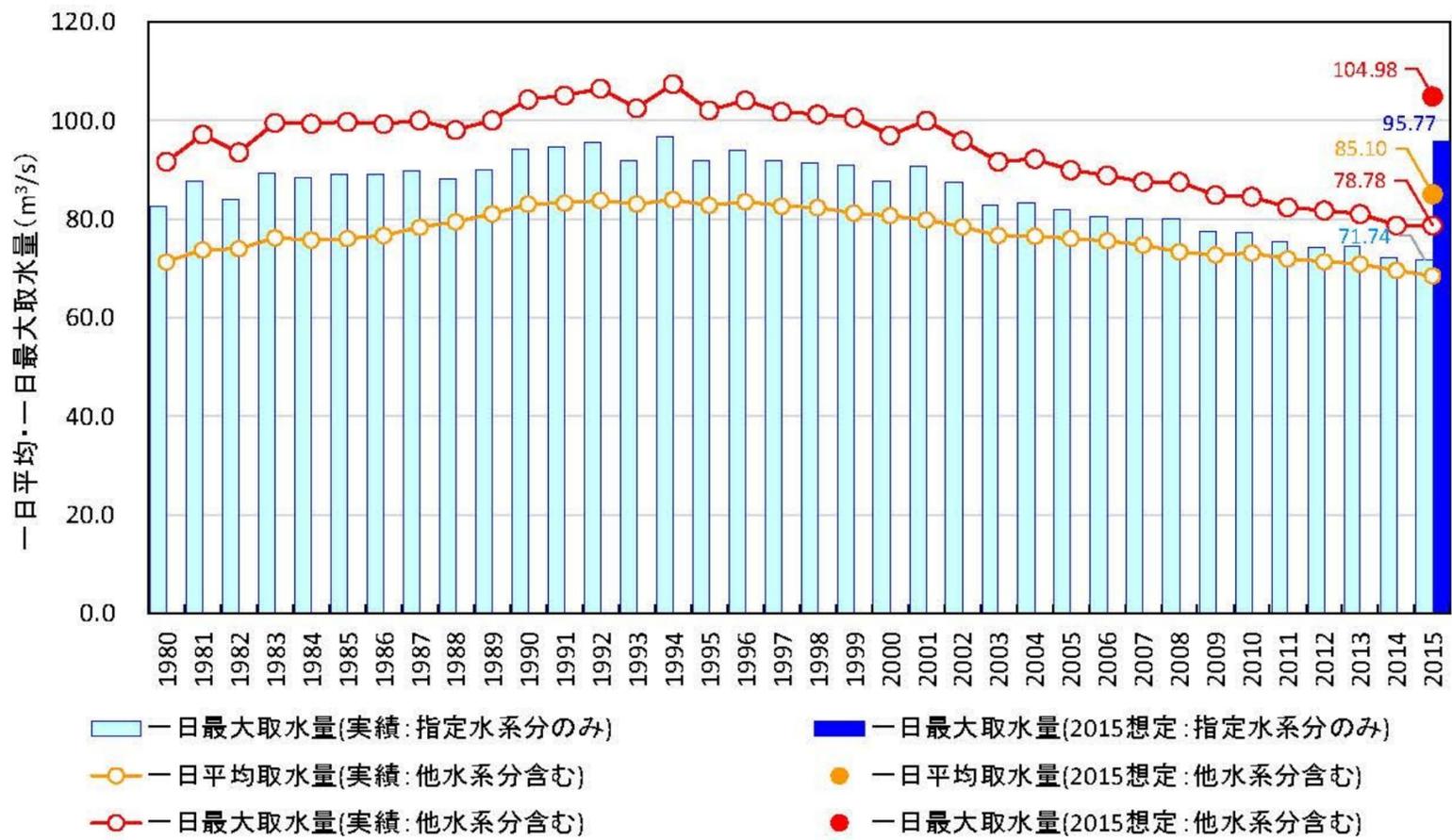
地下水への影響、ヒ素を含む可能性のある大量の残土の処理、工事期間中の渋滞、地元負担の非提示、住民への情報非開示、歴史的・文化的建造物への影響、根本的なB/Cつまり採算性などについて問題のある状況で、現在の計画をこのまま進めることは、京都市の未来に向けて重大な問題を招くと考えるため、京都市内大深度トンネルルートへの反対を表明する。

以上、決議する。

令和 年 月 日

京 都 市 会

【淀川水系フルプランエリア】



※簡易水道は含まない。

○淀川水系フルプランにおける水道用水の一日最大取水量実績

	2016	2017	2018	2019	2020	2021
西暦						
流量	70.90	71.20	71.59	69.83	69.36	69.18

m³/s

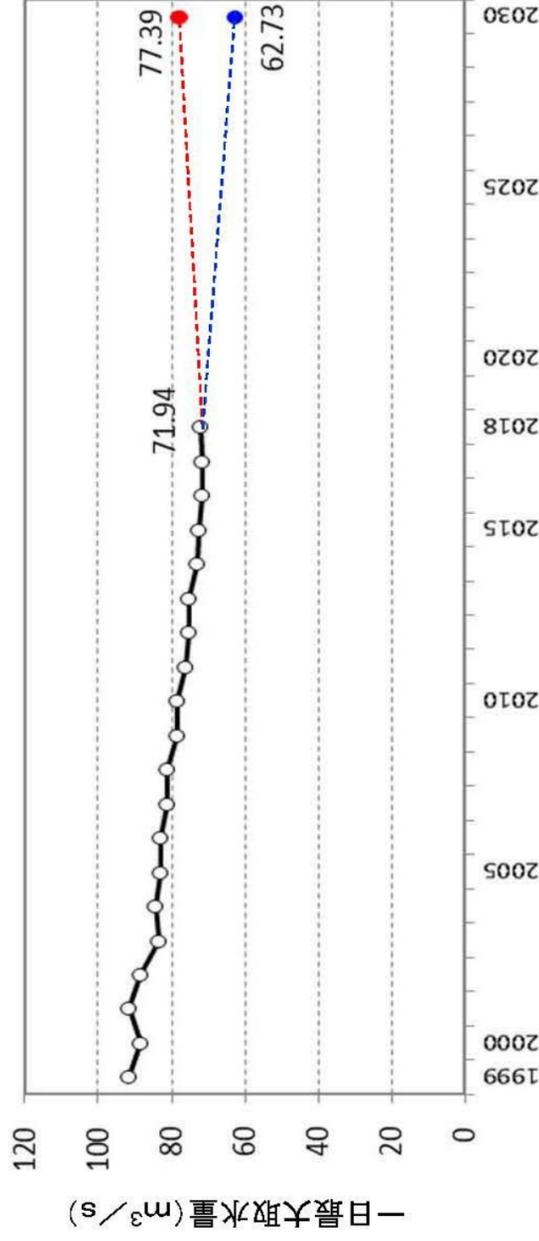
※ 簡易水道は含まない。

都市用水(水道用水・工業用水)の需要想定(指定水系)

6府県合計

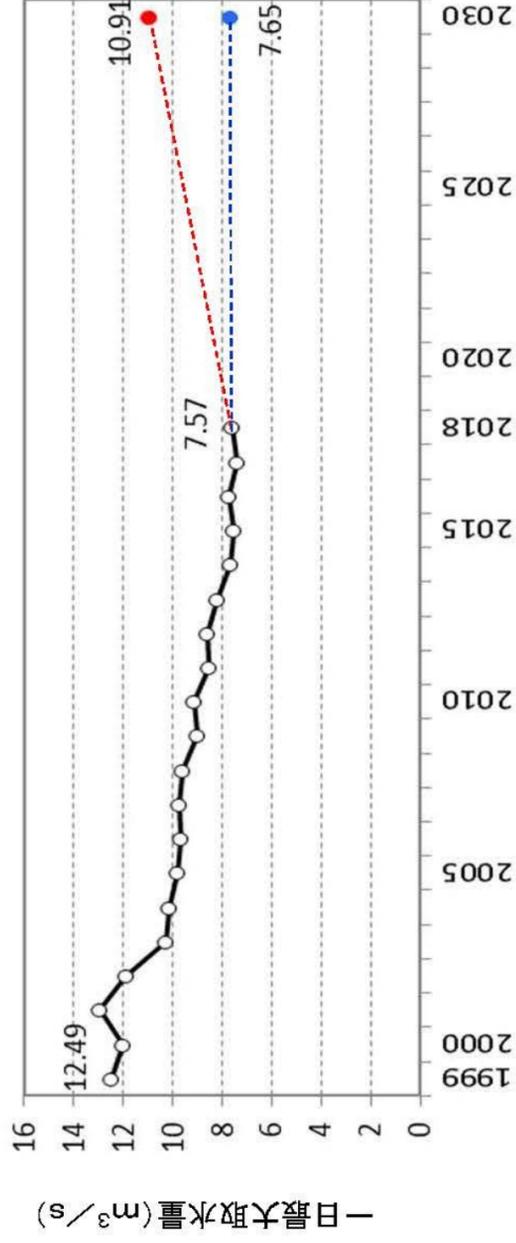
水道用水

フルプランエリア全域のうち
指定水系に依存する需要想定(水道用水)



工業用水

フルプランエリア全域のうち
指定水系に依存する需要想定(工業用水)



増加 : 2%/年以上
やや増加 : 0.5~2%/年
おおむね横ばい : -0.5~0.5%/年
やや減少 : -0.5~-2%/年
減少 : -2%/年以下

実績年度(2018年度)から想定年度(2030年度)までの増減の年平均率

【指定水系依存分と比較】

高位 + 0.6%/年 ● 国想定値

+ 地域の個別施策の値

低位 - 1.1%/年 ● 国想定値

+ 地域の個別施策の値

高位の伸び率:「都市活動用水有収水量」の影響が大きい

低位の伸び率:「人口」の影響が大きい

需要想定(国想定値+地域の個別施策の値) (一日最大取水量、m³/s)

項目	2030年想定	
	高位	低位
フルプランエリア全域	85.79	69.63
指定水系依存分	77.39	62.73
他水系依存分	8.40	6.90

(参考) 指定水系依存分について、近20年間(1999年度から2018年度)の実績値の増減の年平均率-1.1%/年

実績年度(2018年度)から想定年度(2030年度)までの増減の年平均率

【指定水系依存分と比較】 ※地域の個別施策による増減は無し

高位 + 3.7%/年 ● 国想定値

+ 基礎資材関連原単位の影響が大きい

低位 + 0.1%/年 ● 国想定値

+ 基礎資材関連原単位の影響が大きい

需要想定(国想定値) (一日最大取水量、m³/s)

項目	2030年想定	
	高位	低位
フルプランエリア全域	11.07	7.77
指定水系依存分	10.91	7.65
他水系依存分	0.16	0.12

(参考) 指定水系依存分について、近20年間(1999年度から2018年度)の実績値の増減の年平均率-2.0%/年